

謎に満ちた雪舟の前半生
に迫る物語

雪舟生誕地 〔総社市赤浜〕



雪舟生誕地公園にある雪舟像

室町時代の応永27年（1420）、備中赤浜（現総社市赤浜）に生まれた雪舟は、室町水墨画を大成し、後世の画壇に大きな影響をおよぼしたことで画聖と称されています。

総社市雪舟生誕地公園は、総社市が誇る偉人雪舟を顕彰するため、令和2年（2020）11月、生誕から600年の節目の年に雪舟生誕の地に開園しました。公園では、雪舟の生涯・功績の紹介や雪舟の国宝指定作品6点全てを精密に再現した陶板画の展示など雪舟について学ぶことができ、また、枯山水の庭や桜・モミジなどが植樹された憩いの広場もあり、四季折々楽しむことができます。

『きび野』「わが町・村の自慢」161号（2021年春号）より



雪舟生誕地公園にある施設



雪舟生誕地公園にある誕生碑

雪舟と拙宗とえば、日本美術史では著名な難題だ。雪舟等楊は、かつてモーツァルトらとともに世界の十大文化人にも選ばれたほど有名な画家だ。アニメになった一休さんほどではないかもしれないが、室町の禅僧の中ではよく知られている方であろう。対して拙宗等楊の方は、一般にはほとんど知られてはいまい。しかしこの拙宗、読み方によっては雪舟と音が同じになる。

大正時代の山村に住む家族の受験事情を描く

県立岡山中学校〔岡山市〕

江戸時代の岡山城は岡山藩池田家の居城であり、政治の中心地であった。本丸は、天守がある本段、政庁がある中の段、蔵などが林立する下の段で構成されていた。当時は池田家とその家臣団など限られた人しか入ることが許されない場所であった。

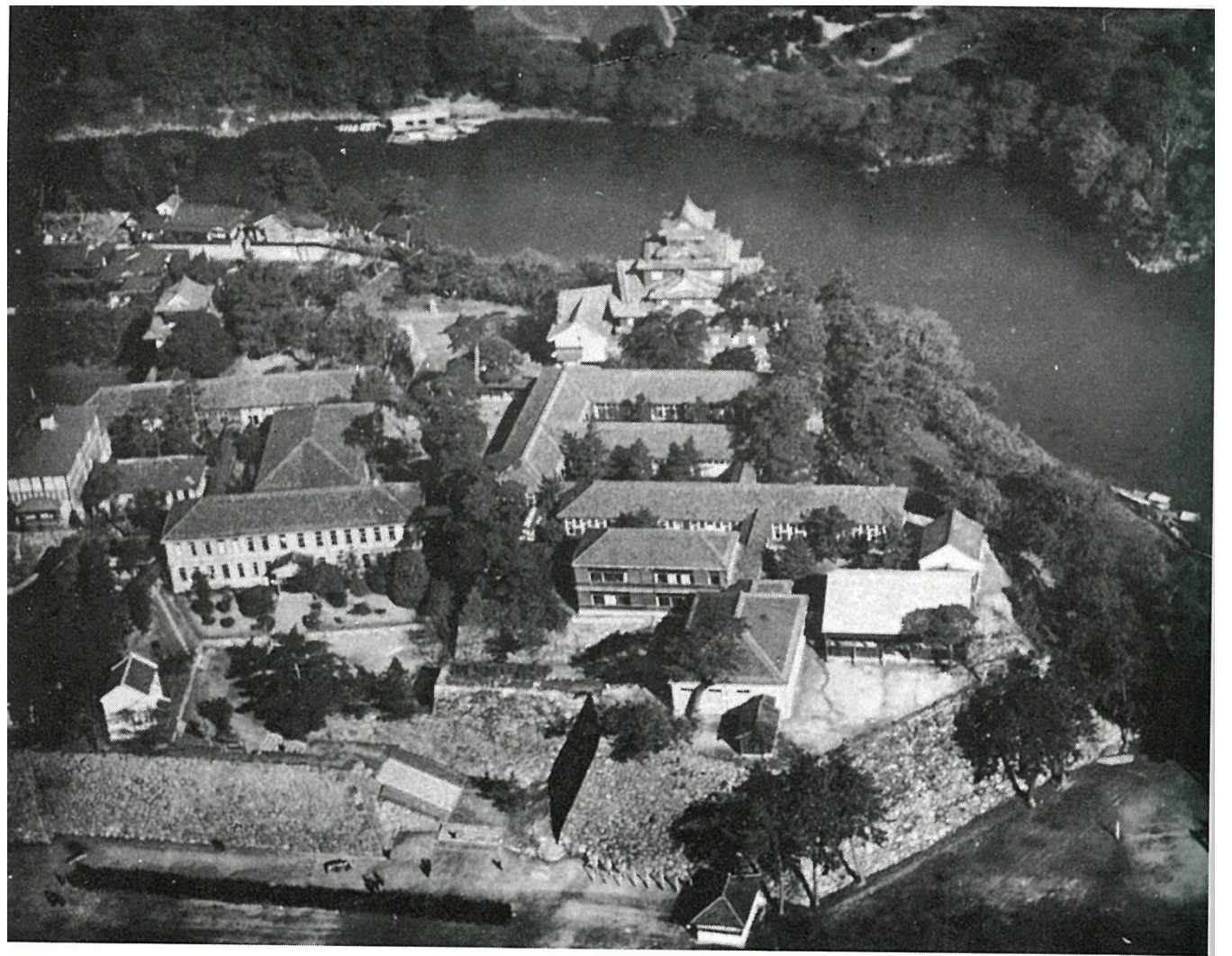
明治になり、本丸にあった櫓や御殿の大半は取り壊され、明治29年（1896）には岡山県尋常中学校（県立岡山朝日高校の前身）の新校舎が完成。

明治35年、内田百閒も岡山県岡山中学校と改称された同校に入学、城にあった学舎で五年間を過ごした。内堀の本丸側渡り詰めに校門があり、下の段には運動場や寮、中の段に校長室や特別教室、本段に普通教室があった。校舎は昭和20年の戦災で焼失。

今は不明門を支える石垣に中学校があったという書が残る。かつて少年たちが勉学に励んだ本段には、天守が昭和41年（1966）に再建された。

『きび野』「ふるさとの思い出」161号（2021年春号）より

「岡山中学を受けてほしいんじゃと」
志乃は目をむいて夫の顔を、次いで息子の顔を見た。岡山中学校といえば、県で一番の名門校ではないか。岡山県のみならず、日本全国から将来を宿望された少年たちが集うという。岡山城の天守閣をのぞむという学び舎の場所からして、雲の上の世界である。そんな学校にこの子を？



烏城と共に、在りし日の岡山一中 陸軍航空隊写す

『岡山城史』（同編纂委員会）より



月見櫓のある中の段



天守のある本段
この広場にも校舎があった



本丸下の段に運動場があった
2021年3月撮影